

議会だより



No. 126
2014. 11. 1発行

9月定例会報告	
25年度大型決算を認定	2
県に意見書を提出	4
議案審議結果	5
町政を問う!・一般質問 全議員が登壇	6
一部事務組合報告	12
常任委員会レポート・議会改革	13
議会クイズ・政務活動費・編集後記	14

25年度大型決算を認定

一般会計決算 67億4114万円



(株)良品計画鳩山センター 奥田地内に11月稼働

第3回定例会

平成26年第3回定例会が9月2日から9月12日までの11日間にわたり開催されました。
提出議案は条例の制定に関するもの7件、広域静苑組合の規約変更に関するもの1件、平成25年度一般会計並びに特別会計等の決算認定に関するもの8件、平成26年度一般会計並びに特別会計の補正予算の議定に関するもの3件、工事請負契約の変更契約の締結に関するもの1件の20議案でいずれも可決・認定されました。
議員から県道343号線(岩殿・岩井線)の拡幅改修工事を求める意見書が提出され、可決されました。

一般会計決算

歳入

問 □座振替とコンビニ収納についての現状を伺う。

答 平成25年度個人町税民税のコンビニ収納件数は2238件で、前年比603件増。向上している理由は土日、祝日、深夜でも納付可能なこと、また納入期限を過ぎても2ヶ月間は納入できるように納税環境を整備したことが要因と思われる。

問 25年度の不納欠損額が前年比ほぼ半分。また収入未済額も減額しているが、理由を伺う。

答 町税の収入実績で1000万円を超える徴収努力があった。

歳出

問 徴収努力とは。

答 土日、祝日の臨宅徴収、夜間の電話催告、夜間徴収等を行っている。

問 滞納における分納について25年度の実績は。

答 48件4369万円分の分納確約を得た。

問 町債の状況として、未償還残高は約54億円とあるが、それに対して地方交付税が充当されると思うがその額の説明を。

答 町債の発行額は16億3100万円、このうち交付税対象額は9億6640万円。平成25年度末の一般会計にいう未償還残高49億4036万円のうち、37億3772万円率にして76%については交付税措置がある。実質的な未償還残高は12億264万円。

問 デマンドタクシーの利用者数が、ここ数年横ばいで推移しているが、その要因は。

答 登録人数は増えているが、利用者数は伸びていないのが現状である。原因は分からないが、アンケート調査を実施中。その結果で分析する。

問 子宮頸がんワクチンの接種状況は。

答 25年度実績で35人が接種。副反応の報告はない。また、26年4月以降はゼロ。

問 シルバー人材センター補助金500万円とあるが、決算の状況は。

答 繰越金、収支約3712万円で、前年度と比べて約16万円の減額。

平成25年度一般会計決算(歳出)

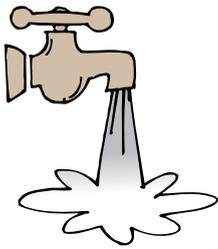
教育費	21.5%	14億5153万円
民生費	21.2%	14億2657万円
総務費	19.2%	12億9266万円
土木費	13.2%	8億9130万円
消防費	9.7%	6億5482万円
衛生費	6.3%	4億2324万円
公債費	5.0%	3億3970万円
農林水産業費	2.3%	1億5161万円
議会費	1.3%	8835万円
その他	0.3%	2136万円

※その他は、商工費、労働費、諸支出費の合計です。
 ※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。
 ※構成比の大きい順に記載してあります。

平成25年度一般会計決算(歳入)

町税	24.6%	16億8360万円
町債	23.8%	16億3101万円
国庫支出金	17.5%	11億9783万円
地方交付税	16.8%	11億5141万円
県支出金	3.6%	2億4518万円
繰入金	3.1%	2億1258万円
繰越金	2.9%	1億9612万円
地方消費税交付金	1.6%	1億981万円
ゴルフ場利用税交付金	1.4%	9609万円
地方譲与税	1.0%	6663万円
自動車取得税交付金	0.4%	2642万円
その他	3.3%	2億2168万円

※その他は、地方特例交付金、使用料及び手数料などです。
 ※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。
 ※構成比の大きい順に記載してあります。



問 この決算内容だと、約3700万円の剰余金になるわけだが、来年度以降の見通しは。

答 町から毎年500万円くらい減額して欲しい旨、指導している。

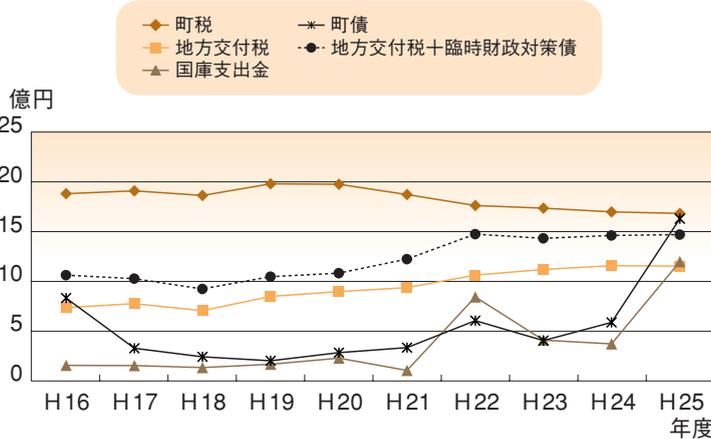
問 奥田埋蔵銭総額調査業務委託料の概要は。

答 良品計画の造成中に偶然発見された。いわゆる埋蔵銭で、約9000枚が97枚ずつ紐でくっつてあった。また、納めていた土器は割れていた。中国の古銭で、埋められた時点より前の銭も混ざっていて、詳しい銭の時代が想定できなかったが、くっつてあった紐は放射性炭素年代測定により、14世紀の前期というところまでは調べがかった。

問 一時借入金について伺う。

答 水道会計積立金と銀行から計4回、額にして9億円。

主要財源の年度別推移



※地方交付税+臨時財政対策債は、実質的な地方交付税として年度別推移データを掲載しています。

〈一般会計の反対討論〉
 奥田地内への企業誘致が確定され、区画整理事業も終結の目途がたったが、人口減少や町税の減収が続いたままであり、財政難が続いている。団体補助金の自治協力金や産業振興関係の補助金など、規約や総会、繰越金、会計報告など責任もって監督する必要がある。

あんずの里づくりなど実施計画は構想で終わっている。町としての確固たる方針が分かるような町政運営を目指すべき。
 また、大雪対策など災害復旧での補助や見舞いなど、近隣市町との格差が生じないように是正も必要である。(根岸)

平成25年度特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の状況

名称	歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険	19億2382万円	19億3425万円	△1043万円
今宿東土地区画整理事業	2億4836万円	1億8225万円	6611万円
農業集落排水事業	3304万円	3240万円	64万円
介護保険	9億5635万円	9億1553万円	4082万円
浄化槽設置管理事業	2992万円	2864万円	128万円
後期高齢者医療	1億5381万円	1億5327万円	54万円
水道事業(収益的収支)	2億6205万円	2億6022万円	183万円
水道事業(資本的収支)	1033万円	1億7756万円	△1億6723万円

※国民健康保険の不足分は、翌年度の歳入で補てんされました。
 ※水道事業(資本的収支)の不足分は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんされました。
 ※水道事業会計には消費税が含まれています。
 ※各金額は四捨五入してあります。
 ※差引額は歳入から歳出を引いた額としています。



子ども・子育て新制度

来年4月からどうなる

国で、子ども・子育て支援法が平成24年8月に成立。それに伴って認定こども園法や児童福祉法、私立学校法なども改正され成立。

保育の必要性と必要量の認定調整

問 調整など事務の量が増えるのでは。

答 保育の認定を全部するのでも多くなる。教育委員会とも協議する。

問 1ヶ月64時間とするより、おおむね50時間以上などとした方がよいのでは。

答 現行の運用通りなので、支障は出ない。

〈反対討論〉

新制度のねらいは、保育の市場化に道を開くこと。町の調整権が縮小される中では、保護者や子どもにとって十分な調整ができるか疑問である。
(根岸)



学童保育 みんなでおやつ

た運営を規定した。

問 施設のあつせん、調整及び要請に対する協力とは。

答 利用者のニーズに応じて、施設は応じなければならぬ規定である。

問 保育や教育方針に沿って、自由に教材費等買ってもらうことができるようになるが。

答 保育料の外に別途徴収できることになる。

〈反対討論〉

保護者や子供の意思が尊重されない場合が起きる。こども園では、1日のうちに何度も部屋が換わる。保護者の負担が増える。
(根岸)

小規模保育園などの設備及び運営基準

問 給食室の義務がなくなるのか。

答 そのために、例外規定が設けられた。

問 保育士の資格など緩和されているが。

答 国としては、たくさん受け入れられる体制を整備することである。

意見書を県へ提出しました!

石井議員が提案し、全会一致で可決

県道第343号線(岩殿・岩井線)の拡幅改修工事を求める意見書

比企郡鳩山町地内における県道第343号線(岩殿・岩井線)の大字石坂地内坂下交差点付近から、大字赤沼地内都市計画道路「入西・赤沼線」との交差点付近までの区間は、(中略)狭小のうえ歩道も無く、なおかつ急カーブで見通しも悪く通行車両はもとより、歩行者にとっても非常に危険な箇所です。過去には多くの交通事故や痛ましい死亡交通事故も発生しています。地元住民からの道路改修要望は以前から繰り返して出されています。

このような現状の中、県におかれましては今年度、県単独での事業が可能か調査のための測量委託業務が予定されているとのことですが、地域の窮状をご推察いただき、越辺川改修工事の進捗に拘わらず、早急に県道第343号線当該箇所の拡幅改修工事及び、これに付随する一級河川鳩川に架かる橋梁重郎橋の拡幅改修工事を行うよう強く求めます。

平成26年9月12日

埼玉県比企郡鳩山町議会
(一部省略)

問 町内で該当する施設はあるか。

答 事業所内施設が2ヶ所ある。

〈反対討論〉

職員の資格や給食室の規定を緩和していること。年齢差などを考慮した保育スペースなどが十分確保できるか疑問である。
(根岸)

答 実施の時に届出が必要になるので、公的な責任がある。

問 学童保育に児童館や子ども教室事業を押し付けているのでは。

答 保護者、指導員等が示したものである。

〈反対討論〉

子ども・子育て新制度からは町の実施義務が条文化されるべきだ。

しかし、町長は設備及び運営の向上を勧告できるなどがある。また、毎日同じ子どもの生活の場という文言が欠けている。
(根岸)

一般会計補正予算 教育委員会の 改革準備費計上

問 給食センターの基本設計プロポーザル審査委員報償とは。

答 学校給食の新たなあり方調査検討委員会から提言いただき、要望を取り込んだ設計を指名業者から提案いただき、審査するものである。

問 ふれあいセンターの空調機工事では各部屋ごとに温度調整ができるか。

答 各部屋ごとにスイッチがあり、管理できる。

問 胃がん予防のピロリ菌感染検査の状況は。

答 20人予定していたが、好評で、あと50人分増やすことにした。

問 教育委員会改革の準備委託料は。

答 教育行政の責任、危機管理体制、首長との連携、教育長と教育委員長の一本化や国の関与の見直しを行う準備である。

町と教育委員会の条例や規則などを専門家が見直す。

〈反対討論〉

第3回臨時会

一般会計補正

問 損益を出した株主への還付とは。

答 株式が上昇したが、過去3ヶ年分の損益に対し還付することになった。

問 農業集落排水の補正予算が、なぜ故障か。

答 定期的な点検をして7年たった。1年前の提言が生かせず申し訳ない。

問 亀甲橋の拡幅工事契約設計額が1億円と予算

首長を教育行政のトップに変えることなど、とんでもないことである。

教育の自由と自治が侵害され、子どもの学びと育ちがゆがめられてしまう恐れがある。
(根岸)

問 介護保険補正予算

保険制度や基金の還付など検討したか。

答 第6期計画策定中であり、不足ではないので検討していない。

を上回っているが。

答 資材価格や労務単価の上昇、前年度の道路拡幅の一部を今年度に繰延べ、実施設計額の増額が主な理由だ。

この3つの理由で20%増加となった。

補正の日程がつかず、科目の流用で対応する。

問 大規模改造工事の契約

入札記録では、1社だけが予定価格以下だが。

答 人件費や資材の高騰があり、技術者や労務者の手配ができなくなっている。入札の不調も多い。

議案の審議結果

○は賛成 ●は反対 議は議長

議案		議員氏名											審議結果				
		田中 種夫	松浪健一郎	日坂 和久	森 利夫	野田小百合	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	松田 隆夫	根岸富一郎	中山 明美		小鷹 房義			
臨時会	町長提出	平成26年度一般会計補正予算(第3号)の議定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		工事請負契約の締結(防災・安全交付金 亀甲橋通学路対策工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		工事請負契約の締結(町立亀井小学校校舎大規模改造工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
第3回 町長 提出 例会 会	町長提出	保育の必要性の認定に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
		特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		北部地域活性化基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		重度心身障害者医療費支給に関する条例及びひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		広域静苑組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成25年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
		平成26年度一般会計補正予算(第4号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
工事請負契約の変更契約の締結(毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業第5街区7画地ほか宅地整地工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
議員提出	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
	県道第343号線(岩殿・岩井線)の拡幅改修工事を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

町政を問う!

一般質問 全議員が登壇

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

- 松浪健一郎 議員 1 これからの街づくりについて
- 田中 種夫 議員 2 小・中学校の不登校と、いじめ問題について
- 田中 種夫 議員 1 あんずの里づくりについて
- 日坂 和久 議員 2 イメージキャラクター「はーとん」について
- 日坂 和久 議員 1 古代瓦のふるさと鳩山再現事業と農村公園等町内資源の有効活用について
- 小川 唯一 議員 2 福祉・健康複合施設整備と地域福祉の担い手育成について
- 小川 唯一 議員 1 特定健診について
- 森 利夫 議員 2 農業行政について
- 野田小百合 議員 1 全町公園化と農村公園について
- 野田小百合 議員 2 地域福祉推進について
- 中山 明美 議員 1 鳩山ニュータウン地区 都市再構築戦略事業について
- 中山 明美 議員 2 人口減少時代の公共施設等のあり方について
- 根岸富一郎 議員 3 将来の教育環境について
- 根岸富一郎 議員 2 地域包括ケアシステム構築に向けて
- 根岸富一郎 議員 1 空き家対策について
- 松田 隆夫 議員 1 子ども・子育て支援法の施行について
- 松田 隆夫 議員 2 あんずの里づくりについて
- 松田 隆夫 議員 3 次期更新施設建設の協定について
- 小鷹 房義 議員 1 国民健康保険財政の健全化に向けて
- 小鷹 房義 議員 2 (仮称)福祉・健康複合施設について
- 石井 計次 議員 1 積雪による町内道路の除雪対策について
- 石井 計次 議員 2 「鳩山の夏の曇りを考える」について
- 小峰 文夫 議員 3 町の財政について
- 小峰 文夫 議員 1 河川・道路行政について
- 小峰 文夫 議員 2 ボランティア活動について
- 小峰 文夫 議員 3 小さな町から大きな夢をもって、町おこし、について
- 小峰 文夫 議員 4 企業誘致について
- 小峰 文夫 議員 3 今宿小学校について
- 鳩山中学校について

北部開発

北部地域活性化の現状は

事業等の確定に至っていない



松浪 健一郎 議員

問 北部地域活性化について、何年計画で、予算、事業内容を伺う。

答 最初の5年間を計画期間。実施状況を踏まえて計画の見直しを行う。予算規模等については、申し上げられない。基金についても、一般会計から数%積むとか、計画的な積み立てができればいいが、来年度予算で、一定の額を確保したい。事業内容については、推進地区である泉井・上熊井地区との話し合いの中で具体化するものと考えている。ただ、現時点で北部地域活性化施策の計画年数、予算額、事業予定等を明示することは困難である。

問 北部地域の町づくりについて、プランは示したのか。

答 北部地域活性化ビジョンを作成し、泉井地区の町づくりビジョンと両方を加えた協定書を作成した。この協定書をもとに、協議し事業を進めている。

問 この協定書により、何の事業を行うのか。

答 泉井地区に活性化委員会を組織し、既に3回開催しているが、事業等の確定に至っていない。いじめに対する対策や教育について伺う。

答 全ての学校でいじめ防止基本方針を作成、発生した場合の対応、学級づくり、指導、保護者との連携について定めている。ネットいじめについても、不適切なネットへの投稿がないか、毎日埼玉県教育委員会で、専門の職員3人を配置して調べている。



開発が待たれる北部地域

田中 種夫 議員



試験栽培

あんずの里の進捗状況はどうか

来年度の収穫が望める

問 あんずの里づくりがスタートして約3年が経過したが、進捗状況、また今後の展開はどの様に予定しているか。

答 プロジェクト委員は広報紙などで募集し、30人となっている。現在の圃場は25筆、約2万平方メートルとなり、3年間の総本数は680本となっている。来年度からは収穫が期待できると思われる。

問 今後は作業員の人数も今まで以上に必要になるので人員確保に努め、県の指導を受け鳩山に合った対策を講じていく。

答 プロジェクト委員は広報紙などで募集し、30人となっている。現在の圃場は25筆、約2万平方メートルとなり、3年間の総本数は680本となっている。来年度からは収穫が期待できると思われる。なお、鳩山の風土でも栽培が可能だが確認できたので、今後は6次産業化も踏まえ、生産・加工・販売を担う法人化に向けて進んでいきたい。なお、試験栽培は28年度終了を目標としている。



収穫が期待されるあんずの里(須江地内)

問 販売されているのか、販売実績はどうか。また訴求方法はどうか。ゆるキャラグランプリが始まっているがどのような訴求方法か。また今後の販売予定はいかがか。

答 グッズとしてはポロシャツ(大人・子供)・ぬいぐるみ(大・小)・キーホルダー・自由帳など6種類である。ポロシャツは受注生産のため、販売方法を検討する。グッズの販売店は旬の花をはじめ、それぞれの自社店となっている。新規アイテムについては、ホームページなどで募集しているが、希望がない現状である。今後の販売予定は商工会とも連携をとり検討する。グランプリについては訴求ができなかった。

日坂 和久 議員



福祉健康複合施設

旧松栄小跡は総合的福祉拠点なのか

各種の福祉拠点として連携させる

問 古代瓦のふるさと鳩山再現と農村公園等の有効活用

答 新沼窯跡は可視化か、埋設保存か。

問 学術評価委員に確認し、可視化も検討する。

答 農村公園に建設可能な建築物は。

問 ミニレストラン・窯跡小屋も申請し開発許可はあるが、実際に建てるには県許可が必要。

答 窯跡テーマパークを併設できないか。

問 国指定史跡になった場合、可能と考える。

問 鳩山のいち押し事業でもあり、国分寺市と連携して、古代工房体験学習等、広範囲にPRすべきでは。

答 確かに、町内外へPR不足だ。近隣自治体へポスターの配布等検討する。

問 農村公園から新沼窯跡への窯跡あるくロードを整備してはいかがか。

答 公園から大橋水穴、金澤寺前町道を経て、新沼窯跡が効率的と考える。

福祉・健康複合施設と地域福祉の担い手育成

問 特養には町民が優先入所できるのか。

答 優先入所指針に基づき、整備法人に求める。

問 総合的福祉複合施設と受け取るかがかか。

答 高齢者・子供・障がい者を含めた福祉の拠点である。

問 特養・付帯施設・多世代活動交流センター等施設全体の調整担当は。

答 政策財政課だ。

問 地域福祉の担い手として、有償ボランティアについて見解はかがかか。

答 既に町内で有償の支援活動はある。重要な制度と考える。



旧松栄小跡地に整備される福祉健康複合施設イメージ

小川 唯一 議員



農業行政

生薬栽培で農業の活性化を

6次産業化を本格的に取り組む時期

問 特定健診の目的、成果、課題について伺う。

答 目的は、国保被保険者の生活習慣病の発症の予防、成果は糖尿病など発症リスクの軽減、課題は受診率の向上。

問 過去5年間の受診率の推移は。

答 平成20年度30.5%、21年度28.4%、22年度28.8%、23年度32.1%、24年度33.9%であった。

問 平成26年度の反省点と対策は。

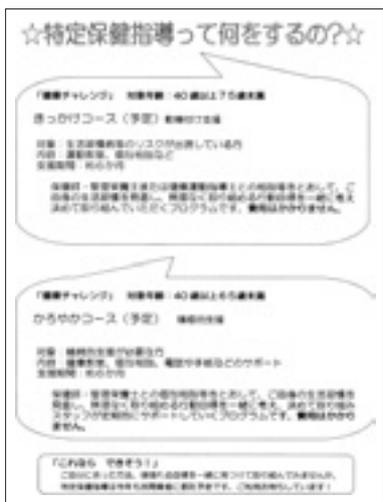
答 受診率向上に努力している。

問 受診率の数値をどのようにみているか。

答 近隣市町村と比較しても下回っている。周知等行っていきたい。

問 日

本人間ドック学会が、新たな健康基準を発表した。基準値範囲、正常値の考え方を伺う。



特定健診を受けましょう

答 専門的なことで、国・関係機関が示す数値により実施する。

問 生薬栽培で町の農業の活性化はできないか。

答 現時点では何を栽培したらよいか、専門の大学、製薬会社との連携を構築することが必要。

問 生薬の需要量は増加が見込まれ輸入の多くは中国から。米価の下落等、産業のクラスタ化で町の農業の活性化を。

答 生薬栽培を起点に農家所得の確保、関連企業の誘致で、町に新たなネットワークの創造かと考えるが、町では6次産業化を本格的に取り組む時期である。

森 利夫 議員



全町公園化

全町公園化構想の現状は

全体的に順調に進んでいない

問 全町公園化構想は現状では、全体的に順調に進んでいないとのことであるが、整備拠点である現状の農村公園を有効活用し、たくさんの人を呼び込むことが全町公園化構想の実現になると思う。この様な取り組みを町はどの様に考えるか。

答 拠点整備が順調に進んでいない要因として財源確保の課題が大きい。拠点整備は利用者の生の声を聞きながら、魅力ある施設として活用することで、町に賑わいが創造される。関係課と知恵を出し合いながら、四季折々の花や、古代窯等の歴史文化資源を感じられる公園として活用したい。

問 実際に、この答弁を実現するためにどのように取り組むのか。

答 いつ来ても新しい発見があるようなイベントの開催や、年間を通して花が楽しめる、子供連れで安心して滞在できるような公園とするため、地域住民の方やボランティアの方々との協力を頂き、

実現に向け取り組んでいきたい。

問 平成25年度のニュータウンふくしプラザの運営費用は。

答 社会福祉協議会に委託しており、委託料として1000万円支出。

問 は一とん力フェスタの運営費用は。

答 本年2月開設から3月までは98万円、平成26年度は135万円の予算を計上。

問 常に利用している方と新しく利用する方の比率は。

答 両施設とも把握していない。



復元した古代窯がある農村公園

野田 小百合 議員



ニュータウン再生事業

住民と一緒に検討を

町民との協働を基調に進めている

問 福祉・健康複合施設を作り、ニュータウンを整備する計画がある。事業の概要はどのようなか。

答 国の都市再構築戦略事業を活用し、財源確保を図り、旧松栄小学校敷地への複合施設整備などに組みみたい。

高齢者から子育て世代までが安心して暮らせる多世代交流型のまちづくりを目標としている。

多世代活動交流センターの耐震化、旧松栄小学校敷地全体の整備事業などを考えている。

問 住民どのように協働し、進めていくのか。

答 複合施設の検討に当たって、町民と町職員で構成するニア輝き協働チームを組織し、検討し、住民アンケートをとり、説明会を開催した。

様々な場面で、いただいた皆さんの意見・提案の中から都市再構築戦略事業の採択要件や財政負担などを考慮し選定したソフト事業を具体的に展開する際に、新たな組織の設置やワークショップ

プ等の開催を検討したい。想される。将来的に学校選択制や統廃合を考える時期がくるのではないか。

答 選択制は難しい。学校の統廃合は地域の生活や文化と深いつながりがあり、地域の意向を十分に踏まえて時間をかけて検討する必要がある。

一般論だが、複式学級が2学級になると予測される段階で、統合に向けての話が進む。関係者が十分に話し合い、納得する必要がある。

問 今は地域の特徴を生かして学校づくり、地域づくりに全力をあげている。



地域の特徴を生かして学校づくり、地域づくり

空き家対策

空き家条例の制定を

必要であると認識している

問 鳩山町の空き家の状況は。

答 平成20年の住宅・土地統計調査の結果によると690戸。現在の空き家についてもある程度増加しているものと推測される。

問 ニュータウンの空き家の調査を計画しているようだが、どのように行うのか。

答 現在、福祉健康複合施設を中心拠点施設とする鳩山ニュータウン地区都市再生整備計画の策定に向けて、国や県と事前協議を行っている。調査の方法、内容についてまだ具体的に詰めている段階ではない。

問 倒壊の恐れがある空き家の対策は。

答 町では特に空き家対策を行っていない。空地について対応している環境保全条例の規定に基づいて適正管理に改善するよう指導しているがすべてに対

応していただけないのが現状である。

問 空き家に対して町が指導、勧告、命令、行政代執行などを行う条例を考えてはいるか。

答 町の今後の空き家の発生状況を推測すると、空き家の管理に関する条例の制定は必要であるものと認識している。空き家問題解決のポイントはいかにして所有者に自主的に解体処理してもらうかということである。

問 「空き家条例の制定は必要があることは認識している。」ということだが課題は何か。

答 空き家について所管課が具体的に決まっていないこと。今のところ相談等が寄せられていないなどで、対応が遅れている。



中山 明美 議員



家屋が見えない空き家

根岸 富一郎 議員



目的は6次産業化(農業・加工・販売)の推進

6次産業推進

あんずだけで生計が立つのか

問 保育料は、所得に依りて、幼稚園は5段階、保育園は7から8段階になる。

答 所得に依りて、幼稚園は5段階、保育園は7から8段階になる。

問 「1日11時間、または1日8時間」の規定は、また、それを越えて預ける場合は。

答 フルタイムは11時間とし、パートは8時間が規定の保育時間となる。それを越えると延長保育になり、休日保育も利用できる。

問 一般原則に「生活の場」の記述がない。放課後児童一般の子どもと一緒に受け入れる施設ではないか。

答 国の基準通りだ。子ども・子育て支援法では「…地域の実情に応じて…行わなければならない」とあるが。

問 指摘されたことを研究させていただく。

問 あんずだけで生計が立つのか。

答 目的は、6次産業化の推進事業として、あんずの里づくりを行うこと、それにより農村社会の活性化、農地・里山保

全ができる。

問 町は、あんずの里づくりにとどのように関わっていくのか。

答 平成28年12月まで農地を借りているので、それまでに農業生産法人を立ち上げていただき、町は、町の事業として補助金を活用し、農業生産法人を支援していく。

問 次期ごみ処理組合管理者は、鳩山町長とすべきではないか。

答 故障時など、迅速な対応がとれるように地元からも声がある。正副管理者会議で協議になれば、その考えを表明したい。



あんず狩り一元更埴市視察研修プロジェクト委員会

松田 隆夫 議員



医療・介護を一体的に展開していく

地域包括ケア

福祉・健康複合施設の中身を伺う

問 福祉・健康複合施設のコンセプトは何か。

答 高齢化社会に対応して医療・介護を一体的に展開していくことだ。

問 どんな施設か。

答 旧松栄小跡地に、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護、付常施設として療養通所介護・地域包括支援センター・地域の交流スペース、福祉レストランも設置する。

問 開所予定はいつか。

答 平成29年2月頃。

問 特養については、町民の優先入所が図られてよいケースだ。県と協議していただきたい。

答 最大限努力する。

問 療養通所介護とはどのような施設か。

答 在宅の医療依存度の高い方のケア施設だ。

問 運営主体はどこか。

答 町内のNPO法人彩西ナースィングケアで、医療相談・訪問看護も併せて行っていた。

問 町の地域包括支援センターの役割は何か。

答 社会福祉協議会と連携して生活支援センターの機能をもたせたい。

問 法改正で、要支援の方々がそついう生活支援を受けることになるが、担い手は誰か。

答 訪問介護は社協の「ふれあい在宅サービス」「ニュータウン新自治会の「お助け隊」「介護支援ボランティア」、通所介護は「ニュータウンふくしプラザ」「はーとんカフェ今宿」「地域健康教室」などが考えられる。



はーとんカフェ今宿

小鷹 房義 議員



除雪対策

生活道路まで踏み込んだ除雪は可能か

通院されている方を考えていく

問 大雪時の対応マニュアルは必要と思うが、

答 鳩山町地域防災計画あるいは対応マニュアルは近隣市町村も調査して考えていく。

問 除雪の判断はだれが指示を出すのか。

答 担当課で検討し、総務課長、副町長、町長に伝え、担当課で判断。

問 生活道路で病院通の方や困っている方の道路は細かいところまで目が届く地域の業者に除雪をお願いできないか。

答 そういったことを考えると、小規模業者にお願いして何とか車両が通行できるようにすることが有効と考える。

問 通学路の状況はどのように対処したか。

答 どの学校も教職員が通学路で安全指導をした。中学校では自転車通学の禁止、部活動も中止した。

問 小中学校には災害対応マニュアルはあるか

答 ある。災害対応マニュアルの中に、今後は土砂災害、大雪、洪水等も書き加えたい。

問 そもそも鳩山町の地域気象観測システム(アメダス)は、どこに設置されているのか。

答 鳩山中学校の第2グラウンドに設置されている。

問 熊谷市では、夏の暑さを売りに「あついぞ熊谷」と銘打って事業を展開しているが、鳩山町でも暑さを売りに何か考えられないか。

答 暑さを売りにして町を活性化することは十分に可能と思うが、暑さは、住む人にとってマイナス要因にもなるので、暑さを味方にするような事業を検討していきたいと思う。



鳩山の「暑いぞ、寒いぞ」アメダス観測

町の活性化

今後の企業誘致の取り組みを伺う

県・進出企業と密接に情報交換を図る

石井 計次 議員



問 町税など長期的減収が予測される。良品計画、鳩山センターが本年11月に本稼働される。

企業誘致は就労の場の確保、固定資産税収入など新たな税収が期待できる。今後積極的に取り組むべきと考えるが現状では立地可能な都市計画法上の受け皿がない。

町の考えを伺う。

答 「企業が進出できない用地が存在するか」との問い合わせがあるが、「本町では現在対応できる用地はない」と回答している。良品計画・鳩山センターの稼働に伴い、新たに都市計画法第34条12号(総量規制20ヘクタール)の指定を受けられる可能性がある。

町の活性化、財政の安定化を考え、県・企業と連絡を密に積極的に取り組んでいく。

ボランテア活動について 有償・無償で活動されている方の状況について伺う。



11月に稼働する良品計画・鳩山センター

登録がある。今後は高齢化が進む中、多くの福祉ボランティアが必要となる。

問 後継者の対策を伺う。

答 学校では大変教育的価値があると考えている。具体的には、社会福祉協議会主催のボランティア体験に小・中学生64人参加。このような取り組みで将来、世界のために尽くす心が育つていけば、すばらしいことと思っている。

小峰 文夫 議員



企業誘致

良品計画従業員、面接に何人来たか

鳩山町から120人、町外から55人

問 奥田地区の良品計画もいよいよ11月から稼動することが決まり、従業員の面接も始まったが、何人の方が面接に来たか。

答 良品計画の面接は、6月16日の月曜日から面接予約の受付を開始し、7月1日の火曜日から順次面接をしたとのこと。面接者数については、鳩山町在住の方が120人、町外在住の方が55人の合計175人。

問 良品計画鳩山センターへ、新潟の配送センターが移設してくると聞いたが、いつ頃わかるか。

答 新潟県長岡調達センターが鳩山センターに移設予定の時期は、平成27年の9月頃と聞いている。また機能移転による従業員募集は80人くらい検討していると聞いている。

今宿小学校について

問 今宿小学校校舎南側ベランダの手すりの鉄骨部分が錆びているが、塗装を大至急できないか。



今宿小学校西側の通学路雑木

答 このままの状況にしておくことは、安全上や景観上よくないので、教育委員会として来年度予算で塗装をしていく。

問 今宿小学校プールと体育館の西側にある大木と校舎西側の大木の処理をして八重桜のような小さな樹木にできないか。

答 今宿小学校敷地内の樹木の処理については、来年度予算編成の中で予算要求をして実施していく。

隣接する民有地については、土地所有者に伐採等を求めた適正管理をお願いしていく。

一部事務組合報告

坂戸地区衛生組合

6月26日臨時議会が開かれ、議長の選挙が行われました。結果、議長には坂戸市の石井寛議員が選出されました。

8月4日第3回定例会が開会されました。提出された議案は、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定の1件で全員一致で可決・認定されました。(小川)

埼玉西部環境保全組合

8月12日に第2回定例会が開会されました。

主な議案は平成26年度一般会計補正予算、平成25年度一般会計歳入歳出決算認定でした。補正予算は川角リサイクルプラザ運転操作システム更新に関わるものです。

10月から高倉クリンセンターの運転時間が、2炉24時間に変更です。また、坂戸市の西清掃センター改修工事に伴うごみ処理を来年の6月から受託します。(野田)

西入間広域消防組合

6月19・20日に議員研修が実施されました。

19日は「神田川・環状7号線地下調整池」で洪水の軽減施設と、神奈川県藤沢市の消防局ワークステーションで、医師同乗救急出動等による救命率向上の説明を受けました。

20日は横須賀市にて津波等の災害を人工的に再現している被害軽減策研究施設を視察しました。

7月2日臨時議会が開催されました。提出された議案は①火災予防条例の一部を改正する条例と②平成26年度一般会計補正予算でした。(日坂)

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

8月8日、第2回定例会が開会されました。提出された議案は1件で、平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めるものです。慎重審議の結果、認定されました。(森)

広域静苑組合

第2回定例会が8月11日に開かれました。議案は平成25年度一般会計歳入歳出決算認定議案1件で、慎重審議の結果、認定されました。(小峰)

平成25年度一部事務組合の決算状況

名称	歳入額	歳出額	借入残高	基金残高
坂戸地区衛生組合	3億2664万円	2億7301万円	0円	3402万円
埼玉西部環境保全組合	18億7121万円	17億8016万円	2億1652万円	20億4605万円
西入間広域消防組合	12億1559万円	12億254万円	2億3423万円	5818万円
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	16億5105万円	16億1169万円	71億9359万円	
広域静苑組合	1億2750万円	1億964万円	0円	4800万円
合計	51億9199万円	49億7704万円	76億4434万円	21億8625万円

常任委員会レポート

総務産業常任委員会

**今宿東土地区画整理事業 事業達成率88%
6回目の計画変更で完了へ加速か！**

本委員会は7月25日所管事務調査を実施しました。
《調査事項》

今宿東土地区画整理事業計画の変更(第6回)の件
今回の事業計画変更は、区画整理未整備の県道とぎがわ・坂戸線東側街区について、地権者との換地計画同意に基づき、区画整理事業計画の一部を変更する必要が生じたため、実施するものです。
この換地を伴う変更は、地権者及び区画整理審議会の承諾のもとに進められており、具体的には6メートル道路の変更と4メートル道路の廃止が主な変更内容です。事業計画年度の延長はありません。

今後、事業計画変更案



円正寺付近(赤沼・今宿)

を県と協議し提出します。県から適切との回答があれば町で縦覧することになり、特に意見書等がなければ県の許可、町の公告にて完了となります。説明を受けた後、委員からの質疑・意見を経て本件の調査を終了しました。(日坂)

福祉文教常任委員会

**高齢者肺炎球菌ワクチンが
定期接種になります！**

本委員会は7月25日所管の事務調査を実施しました。

日程第1 成人用(高齢者)肺炎球菌ワクチン
予防接種助成制度の見直しについて

予防接種法の任意接種から定期接種に変更され、町の助成制度も見直されます。

定期接種になると平成31年3月末まで、原則として65歳から5歳刻みで100歳までが対象となります。

現在、比企医師会では予防接種費用は8960円(税込み)ですが、自己負担5000円で接種できる見込みです。

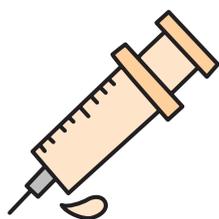
日程第2 重度心身障がい者等(こども医療、

ひとり親医療含む)の医療費助成制度の見直しについて

町では、重度心身障がい者やその家族の医療費負担を軽減し、生活の安定と自立を支援するために、これらに係る医療費助成を実施しています。

平成27年1月1日から助成対象が拡大され、精神障がい者1級の方も対象となります。

ただし、65歳以上で新たに重度心身障がい者となった方は、補助対象外となります。(田中)



<引き続きの検討課題です>

- 議会だよりの充実
- 議会ホームページの充実
- 執行部の反問権
- 意見交換会・議会報告会などの開催
- 議会基本条例の制定など

鳩山町議会では、平成21年2月の第1回会議を皮切りに、町民の皆さんに“もっとよく見え、わかりやすく、住民参画できる議会のあり方”について検討を行ってきました。
更に更に検討を重ね、進化していきたいと思っております。

<こんな取組みをしました>

- 分かりやすい議会、議員力アップをめざして
 - 一般質問・議案審議の一問一答方式の採用
 - 議員勉強会の開催
 - 休日(土曜)議会の開催
 - 予算・決算審議の充実
 - 議員間の情報共有(一部事務組合・協議会・委員会など)
 - 全員協議会の定例化(原則毎月15日)
- 議会の説明責任を果たし、議会への住民参画をすすめるために
 - 全員協議会で請願者の意見表明の場を設定
 - 議会前広報「議会開催のお知らせ」の発行(新聞折込みにて)
 - 議会だよりの充実…議員の議案賛否公表
 - …議会クイズにて読者の意見把握
 - 議会ホームページの充実
 - …議長交際費の公表
 - …検索機能付き議会会議録の公開
 - …音声配信・音声配信速報版の公開

住民の皆さんと共におまちづくりを！
議会の活性化に取り組んでいきます

議会クイズ

(応募方法)

● 正解者の中から抽選で、5人の方に図書カード5000円分を差し上げます。

● クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

125名の当選者5名の方おめでとうございます！

- 泉井 平井 義雄様
- 楓ヶ丘 齋藤さくの様
- 楓ヶ丘 佐藤 尚子様
- 楓ヶ丘 笠間久二郎様
- 鳩ヶ丘 近藤 正良様

★ 前号の答え

- ① イ
- ② ハ
- ③ ハ

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号」を記入してください。

なお「議会だより」や議会に対してのご感想、ご意見なども、ぜひお聞かせください。

(あて先)

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局「クイズ係」

(締切)

11月19日(水)

(当日消印まで有効)

奮ってご応募ください。

お待ちしております。

政務活動費

鳩山町では

政務活動費ってなあに？

前身の政務調査費は、平成12年の地方自治法改正に伴って創設され、地方議会の活性化を図るため、地方自治体が議員や会派の調査研究に必要な経費の一部を支給することを認めたものです。

平成24年から名称が政務活動費となりました。

鳩山町の実態は？

平成13年に「政務調査費の交付に関する条例」ができて、申請議員1人月25000円(年間3万円)が交

付されるようになりました。

使途については、領収書等を添えた収支報告書の提出を義務付けています。

平成26年現在、申請者は12人の議員中5人。

平成9年頃までは、個人にはなく、議会活動調査の名目で、百万円前後の補助金が町から議会に支出されていたようです。

近隣の議会は？

埼玉県内23町村で、政務活動費を支給する自治体は12自治体で、1人当たり単純平均で月約5500円になります。

話題になる理由は？

政務活動費の不適切使用事例は、従来指摘されてお

件が起きました。

政務活動費は、公金である以上、使途を明確にしなければなりません。少なからぬ自治体はチェック体制がありません。

鳩山町議会の対応は？

議会改革を進めるなかで、政務活動費の使途公開や廃がたびたび話題になりましたが、最終的に去る8月19日、議員全員協議会の場で議会運営委員会発議案として

①政務活動費の廃止
②(①が否決の場合)政務活動費の使途をホームページに公表する

の賛否を取りました。結果は、いずれも賛成5人、反対6人で否決されました。

編集後記

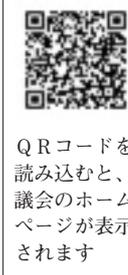
お読みいただきありがとうございます。

皆様に手に取っていただける、わかりやすい「議会だより」を作ろうと編集委員一同努力しております。皆様のご意見をぜひお寄せください。

地方創生にどのように取り組むのか。少子化や雇用の確保など課題は多岐に亘ります。「住みやすい魅力ある鳩山」をめざして取り組んでまいります。

身近な議会になるよう鳩山町のホームページの充実にも力をいれています。QRコードも載せてありますので是非ご覧ください。

(中山)



第126号編集委員

- 委員長 中山 明美
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 松田 隆夫
- 委員 野田 小百合
- 委員 森田 利夫
- 委員 松浪 健一郎

- 問題1** 表紙の写真で、赤ちゃんと関わっているのは誰でしょう。
- イ 高校生 □ 中学生 □ 小学生
- 問題2** 25年度一般会計決算額は、いくらかでしょう。
- イ 67億円 □ 47億円 □ 27億円
- 問題3** 鳩山町における政務活動費の年間交付額はいくらかでしょう。
- イ 30万円 □ 3万円 □ 83千円

表紙の写真あ・の・ね

日頃、赤ちゃんとふれあうことの少ない中学生が、保育や育児について学習しました。

そっと大切に抱っこし、いとおしく赤ちゃんを見つめる中学生。いのちの大切さをしっかりと学んでいました。

次回12月定例会は11月28日(金)から開催予定です

● 請願・陳情は11月19日17時まで提出してください。

● 議会ホームページから音声配信(おおむね3日後から)をしています。

● 音声配信速報版も始めました。翌日(休日を除く)から配信されます。

9月議会傍聴者数 28人